NEWS RELEASE

各位

2026 年 11 月 11 日
セレンディップ・ホールディングス株式会社
（コード：7318　東証グロース）
三井屋工業株式会社

PMI の実践を紹介、三井屋工業・エクセルは 2027 年 4 月に SerenAC へ統合予定
～二度の事業承継を経験した三井屋工業　髙橋社長が登壇～

セレンディップ・ホールディングス株式会社（本社：名古屋市中区、代表取締役社長兼 CEO　竹内　在　以下、当社）の連結子会社である三井屋工業株式会社（本社：愛知県豊田市、代表取締役社長：髙橋　直輝　以下、三井屋工業）は、2026 年 10 月 30 日に中小企業庁主催の「M&A・事業承継シンポジウム（自動車業界編）」に登壇しました。

当社は、連結子会社のセレンディップ・オートモーティブ株式会社（以下、SerenAC）による、三井屋工業とエクセル株式会社（以下、エクセル）の吸収合併の決議を発表しました。この三社の代表を務める髙橋は、承継される側の社員・経営者として三井屋工業で、また承継先企業の経営者としてエクセルで、二度の事業承継を経験した視点から、当社グループの PMI の実践を紹介しました。

イベント概要：https://www.chubu.meti.go.jp/merumaga/2026/1142chubu_merumaga.html

■ M&A 後の価値創出を支える PMI

当社の PMI は、売却を前提とせず長期で経営するグループ経営のもと、承継先の技術や文化を尊重しながら不足する経営機能を補うものです。視える化やチーム経営などの「経営改革」と、DX やスマートファクトリー化などの「製造現場の改善」を両輪としています。

【視える化で現場を変える】

三井屋工業は、2018 年 10 月のグループ参画前、予算と実績の乖離や不良数の未把握など、現状が十分に見えていませんでした。



（出典：登壇資料）

参画に先立つ同年 7 月から、工程内不良の推移を現場に示す取り組みに着手すると、それまで把握できていなかった不良が数字として表れました。一方で、「見られている」という意識が行動を変え、成果が出始めると改善が続く好循環が生まれました。さらに、正確な情報を早く把握するために導入した電子日報システムが、同社の DX のきっかけとなりました。

【カリスマ経営からチーム経営へ】

三井屋工業では、社長決裁案件をすべて役員会メンバー全員で協議し、判断の根拠を共有してきました。「従業員第一」「お客様本位」を掲げた経営基本方針の刷新や、KPI 連動の報奨金制度の導入も進め、役員会は、報告中心の場から、課題を見つけて意思決定する場へと変わりました。エクセルでも、特定のトップに依存しないチーム経営への移行を進めています。

二度の事業承継で得た気づきとして、後継者不在の問題は、次の社長探しだけでなく、社長以外に経営判断が共有されていない問題でもあると述べました。また、守秘義務がある中でも、誰に、いつ、何を伝えるかを決めておくことが、社員の不安を和らげると語りました。

【承継先の DNA を事業につなぐ】

三井屋工業では、創業以来の「もったいない」の価値観が、製品の端材を再生原料として自動車部品に戻す MPS システム（2019 年事業化）として結実しました。承継先がもともと持つ強みを、事業として育てた事例です。エクセルでも、サステナブル材の使用やリサイクルしやすい製品設計、再生可能エネルギーを用いた部品製造など、脱炭素に貢献するものづくりに同じ価値観が生きていると紹介しました。髙橋は、事業承継とは会社をそのまま残すことではなく、会社の DNA を次の時代へつなぐことだと締めくくりました。





（出典：登壇資料）

※図表は、2026 年 10 月 30 日「M&A・事業承継シンポジウム」における髙橋の登壇資料から抜粋したものです。

■ 統合予定とロールアップ型 M&A の加速

2027 年 4 月 1 日を効力発生日として、三井屋工業とエクセルを SerenAC に統合する予定です。共通技術である樹脂成型を軸に、両社の技術・生産・開発機能を融合し、顧客への提案力を高めるとともに、ロールアップ型 M&A による自動車部品事業の成長加速を目指します。

詳細は、2026 年 10 月 20 日付「連結子会社間の吸収合併に関するお知らせ」をご参照ください。

■ 登壇者紹介



髙橋は、1992 年に三井屋工業に入社し、営業・調達・生産の各部門を経験。事業承継を経て当社グループに参画した後の 2020 年に代表取締役社長に就任しました。2021 年に竣工した東北工場は、経済産業省の DX セレクションを受賞しています。2025 年からエクセルの代表取締役社長を兼任し、SerenAC の代表取締役社長も務めています。

■ 会社概要

会社名	セレンディップ・ホールディングス株式会社
本社	愛知県名古屋市中区錦一丁目 5 番 11 号
設立	2006 年 8 月
代表者	代表取締役社長兼 CEO　竹内　在
URL	https://www.serendip-c.com/
事業内容	経営受託及び事業再生、投資事業、経営コンサルティング

会社名	三井屋工業株式会社	エクセル株式会社
本社	愛知県豊田市三軒町 3 - 1	東京都中央区京橋 2 丁目 10 番 2 号
設立	1948 年 2 月	1970 年 2 月
代表者	代表取締役社長　髙橋　直輝	代表取締役社長　髙橋　直輝
URL	https://mitsuiya.jp/	https://www.3d-excell.com/jp
事業内容	自動車内外装品製造	自動車関連部品の開発、製造、及び販売、合成樹脂製品その他の開発、製造、及び販売

【本件に関するお問合せ先】

セレンディップ・ホールディングス株式会社

IR 広報担当：E-mail: pr@serendip-c.com